

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	水資源開発と水利用	コード	作成者	役職	水道課長
		01-01-08	氏名	高井利広	
			電話	0869-66-9793	

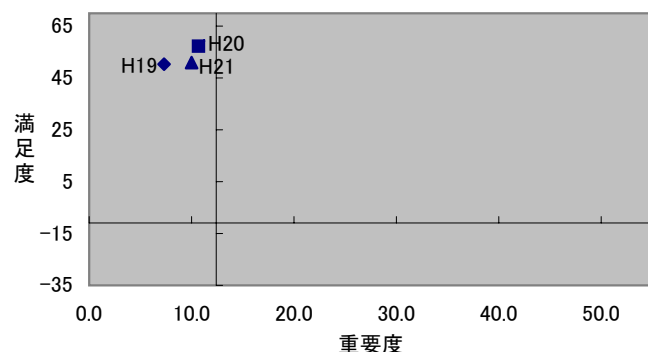
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	常に安定した安全な水を市民に供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行う。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、一級河川の吉井川と二級河川金剛川を抱え、水源としては恵まれた環境にあります。水道は、市民の健康で快適な生活と経済社会を支える根幹的な施設であり、将来にわたる安定した水源を確保する必要があります。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 水源の安定確保 節水対策

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	7.3	10.7	10.0	
満足度(%)	50.4	57.3	51.0	



高 ↑ 満足 度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	水道に対する市民の感覚は、蛇口をひねると常に良質な水が出てあたりまえという感覚であり、それだけに常に安全で安定した飲料水の供給ができるよう事業運営に努める。
調査対象でない施策は、市民の反応等は	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 水質管理項目数	目標	51	50	51	「水質基準に関する省令」で水道水は基準意適合するものとされ、基準項目には「健康に関する項目」と「水道水が有すべき性状に関する項目」が示され、定期的な水質検査を行う。 水道法に基づく水質基準検査項目	H21	51
	実績	51	50	51		H23	51
	達成率	100.0	100.0	100.0		H28	51
	ベンチマーク	51.0	50.0				
参考指標① 水源余裕率	目標	43,250	43,250	35,100	日最大配水量に対して確保している水源水量で、取水の余裕度を示す。 年度の日最大配水量により変動	H21	35,100
	実績	21,012	19,996	20,716		H23	35,100
	達成率	48.6	46.2	59.0		H28	35,100
	ベンチマーク	105.8	116.3	69.4			
参考指標② 自己保有水源率	目標	43,250	43,250	35,100	全水源水量に対する自己所有の水源水量で、取水の自由度を示す。 全量が自己の保有水源	H21	35,100
	実績	43,250	43,250	35,100		H23	35,100
	達成率	100.0	100.0	100.0		H28	35,100
	ベンチマーク						
参考指標③ 配水池貯留能力	目標	1.0	1.0	1.0	配水地の総容量が平均配水量の何日分あるかを示す。 業務指標(需要と供給の調整及び突発事故のため0.5日分以上)	H21	1.0
	実績	1.1	1.1	1.1		H23	1.0
	達成率	110.0	110.0	110.0		H28	1.0
	ベンチマーク	0.5	0.5	0.5			

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									この施策に費やした資源(単位:千円,人)		
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		計	
1 水源施設維持管理事業	B	水源施設維持管理事業	単市	56,677			53,524	18,071	2.03	54,298	14,641	1.56	☆☆☆☆	その他	56,133
		水源保護審議会運営業務	内部管理							0	0	0.00	☆☆	その他	390
		岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	内部管理	8,686	9,465	1.22	10,165	0	0.00	10,195	0	0.00	☆☆	その他	10,149
		吉井川坂根堰管理負担金	内部管理	5,777			6,045	0	0.00	4,560	0	0.00	☆☆	その他	4,712
		八塔寺川ダム管理費等負担金	内部管理	4,958			4,923	0	0.00	774	0	0.00	☆☆	その他	746
				平成18年度	平成19年度	平成20年度									
				76,098	9,465	1.22	74,657	18,071	2.03	69,827	14,641	1.56			72,130

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県広域水道企業団	水質管理事業	県内の水道用水供給事業に関する事務を共同処理する目的で設立された企業団で、水源開発事業や共同検査等を実施している。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	水量が豊富で良質な水源に恵まれており、安全で安定した水道水の供給が行われている。	4	市民に安全でおいしい水を安定的に供給する施設の根幹であり重要な施策である
2 事業構成の適当性 (実施手段)	3	法に基づく水質管理や、浄水施設の更新を順次行なうために組織を充実させる必要がある。	3	安全な水を供給するために必要な水質管理や施設維持管理であり適当
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	将来にわたって、安全で安定した水道水を供給するために水道技術の承継が必要である。	3	水源余裕率を除き目標は現在も中長期的にも概ね達成できると思うが、水源余裕率については、節水型社会となり中長期的にも目標達成は困難と考える
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	コスト削減を図るために、浄水施設の運転及び保守業務について、効率化の観点から業務の部分委託も視野に入れた、民間委託の実施を検討するはどうか。		事業、経営の効率を図るためにも外部委託の導入について検討する必要がある。	
二次評価者コメント	市民に安全でおいしい水を安定的に供給するため、基本計画に基づいた施設更新を実施するとともに、経営の効率化、コスト削減を図るためにも外部委託の導入を早期に検討すること		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 上下水道部長 氏名 樽家 真佐人			3中立	平均的な配分